

## 応用編ポイント

# 波巻きで平面的なウェーブ、スパイラルで立体感と束感

セット面施術

シャンプー台施術

施術プロセス

1 剤塗布  
[つけ巻き]

ワインディング

放置  
5～8分  
(様子をみながら)

中間水洗

2 剤塗布後  
放置約3分

ロッド  
アウト

お流し  
アフター  
トリートメント

スタイリング



最初の塗布から巻き  
終わり、再塗布まで、  
全頭にテニスボール  
(小)×約5個分の泡  
(35g)を塗布してくだ  
さい。

ダメージレベル「2」な  
のでワインディング前  
に1剤を全体に塗布し、  
毛髪に泡をしっかり  
なじませます。

波巻きテク



巻き込む時に、ロッドの下で半回転ひねりを加えて、常に同じ面が表に来るように、スパイラル巻きを行います。



ハチ周りは、通常のスパイラル（円錐ロッド使用）を行います。泡が消え、乾いていると感じたら、1剤を再塗布してください。巻き終えたら、1剤を上に乗せるように再塗布します。

この髪質の場合、放置後5分で軟化チェックを行います。軟化していればその時点で水洗を行い、軟化が甘ければ再度しばらく放置します。

※手袋着用を推奨いたします ※必要に応じて、保護クリームやターバンを使用してください

## WINDING POINT

ランダムな動きは、  
波巻き & スパイラルのミックス

表面（トップ）とアウトライン（アンダー）は量感を抑えるため、フラットなウェーブの波巻き。ハチ周り（ミドル）は量感と束感を出すため、スパイラル巻き。ロッドの配置はすべてレンガ状で、フォワードとリバースを交互に巻いてランダムな動きをつくります。毛先にウェーブを出しすぎないスタイルがトレンドで、ハチ周りフロントは毛先にルーズさを残すために円錐ロッドを使っています。えり足はボリュームを抑えるため、ピンパーマでフォワードに巻いています。

